

令和 5 年度子どもの貧困対策に係る実態調査  
調査結果について

令和 6 年 5 月 27 日

京都府教育委員会

## 目 次

P. 1・2	令和5年度 子どもの貧困対策に係る実態調査の実施について
P. 3	令和5年度 子どもの貧困対策に係る実態調査 調査結果について
	1 全国学力・学習状況調査（学力テスト）の状況
P. 4～7	2 質問紙調査の回答状況
	（1）貧困世帯と府全体の回答状況の比較
P. 8～10	（2）学力A層とD層の回答状況の比較
P. 11	3 健康診断調査の状況
	（1）肥満傾向児の割合
	（2）う歯（むし歯）がある児童生徒の割合（処置の状況別）
P. 12	4 中学校3年生の進路状況
	（1）高等学校等への進学率の年次推移
	（2）課程別進学率の年次推移
P. 13～15	大阪公立大学大学院 五石 敬路 准教授による分析

令和5年度 子どもの貧困対策に係る実態調査の実施について

1 調査対象

要保護・準要保護・ひとり親家庭の児童生徒（小学6年生、中学3年生）

2 調査校

府内公立小中学校から抽出した小中各20校で実施（計40校）

3 調査項目

調査項目		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
全国学力・学習状況調査(小学6年・中学3年) (※1)	学力問題 正答数 (国、算・数)	○ 理を含む	○ 英を含む		○	○
	子どもの 生活状況	○	○		○	○
健康診断調査 (※2)	体格(身長・体重) う歯(有無、処置状況)	○	○	○	○	○
中学校卒業生徒の進路状況 (※3)		○	○	○	○	○ 令和5年3月卒業

▶ (※1)については、令和4年度全国学力・学習状況調査の結果、(※2)については、令和4年度小学6年生及び中学3年生の健康診断調査測定値を本調査の対象とする。

▶ (※3)については、要保護・準要保護家庭の生徒を対象としては悉皆調査を実施済みであり、抽出校調査ではひとり親家庭の生徒のみを対象に実施する。

#### 4 子どもの生活状況調査項目

##### 令和5年度 子どもの生活状況調査項目

(令和4年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より)

1 生活習慣について
<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 朝食を毎日食べている。</li><li>◇ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。</li><li>◇ 毎日、同じくらいの時刻に起きている。</li><li>◇ 「<u>普段（月曜から金曜）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）。</u>」</li></ul>
2 自尊心・将来の展望について
<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 自分には、よいところがあると思う。</li><li>◇ 将来の夢や希望を持っている。</li></ul>
3 非認知能力（自己管理能力・粘り強さ・コミュニケーション能力）について
<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 自分で計画を立てて勉強をしている。</li><li>◇ 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。</li><li>◇ 「<u>困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか。</u>」</li><li>◇ 「<u>友達と協力することは楽しい。</u>」</li></ul>
4 家庭環境・学習時間について
<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 家には、およそどれくらいの本があるか。</li><li>◇ 学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか。</li></ul>
5 地域や社会等への関心について
<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 今住んでいる地域の行事に参加している。</li><li>◇ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。</li></ul>

(14項目)

・下線表示の項目は、前回調査から欠落した3項目を補うために追加した項目

## 令和5年度 子どもの貧困対策に係る実態調査 調査結果について

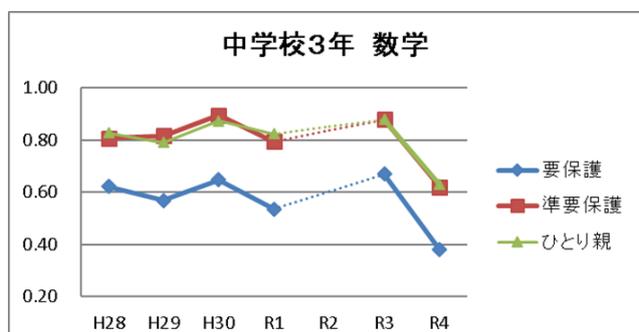
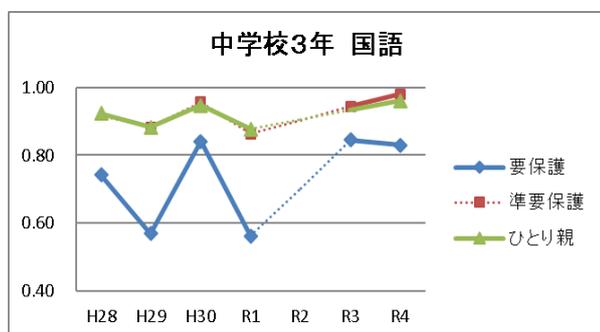
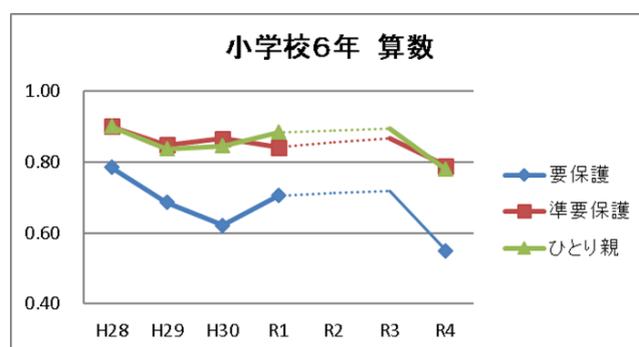
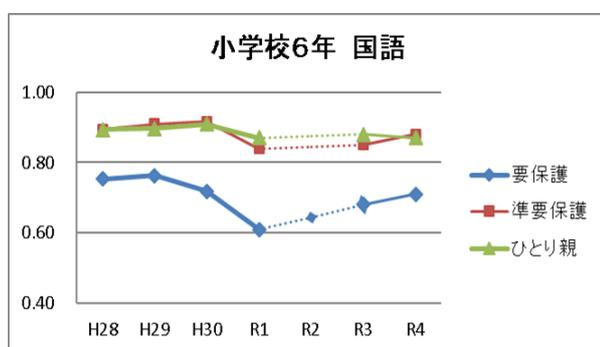
### 調査について

小中各20校を抽出し、前年度（令和4年度）の小6及び中3を対象とした調査。

平成26年度から令和元年度の調査は同一の抽出校で実施。令和2年度の調査から、抽出校を変更しています。

本実態調査について、大阪公立大学大学院 五石敬路准教授が図表のもとになるデータの加工、図表の原案の作成を行った。

### 1 全国学力・学習状況調査（学力テスト）の状況 （府全体の平均正答数を1とした指数による比較の年次推移）



令和2年度全国学力・学習状況調査は中止

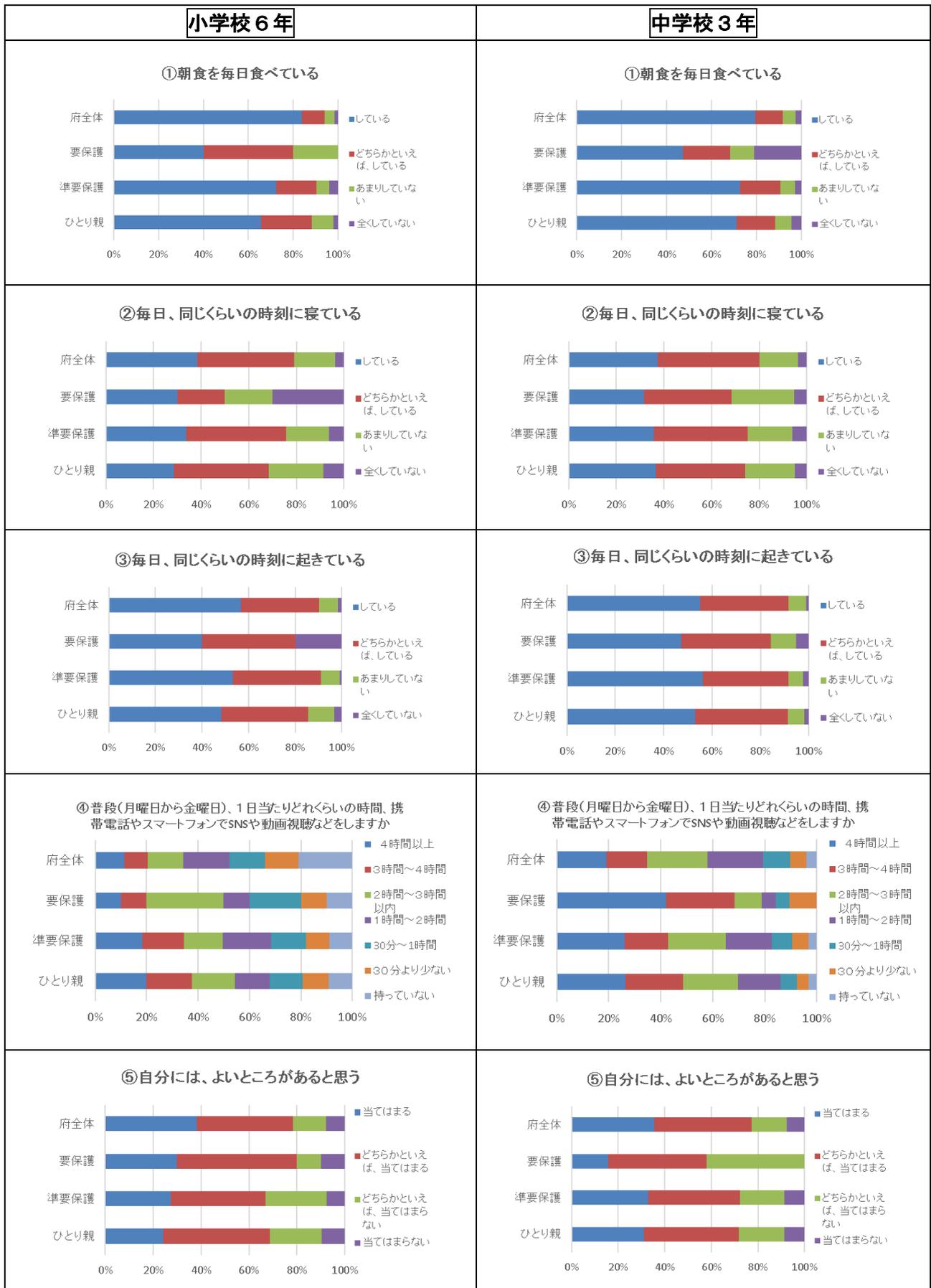
※ 全国学力・学習状況調査における、教科に関する調査について、以前は、「国語A・B」「算数（数学）A・B」が実施されていたが、平成31（令和元）年度は、A・Bの区別がなくなり、「国語」「算数（数学）」が実施された。そのため、上記グラフの平成28～30年度の指数は、平均正答数 を基に算出した。

「要保護」「準要保護」「ひとり親」の児童生徒の正答数は、どの校種、教科とも「府全体」より低い状況である。「府全体」との差に注目すると、「要保護」が「準要保護」及び「ひとり親」より大きい状況で、依然として家庭の経済状況は子どもの学力に大きく影響している。

各テストの指数は、年度によって上下しているが、令和4年度は小6・中3ともに算数、数学の「府全体」との差が大きい状況である。

## 2 質問紙調査の回答状況 令和4年度の小学6年生・中学3年生

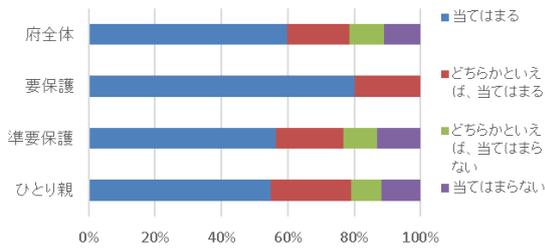
### (1) 貧困世帯と府全体の回答状況



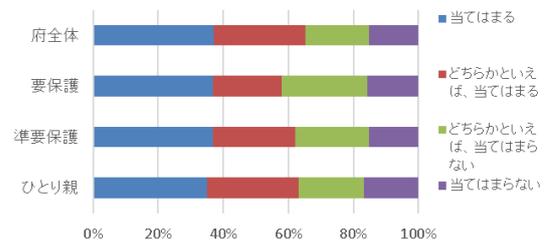
### 小学校6年

### 中学校3年

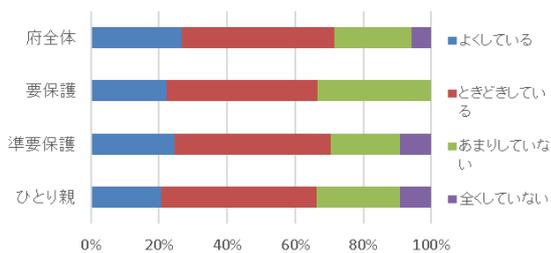
⑥将来の夢や目標を持っている



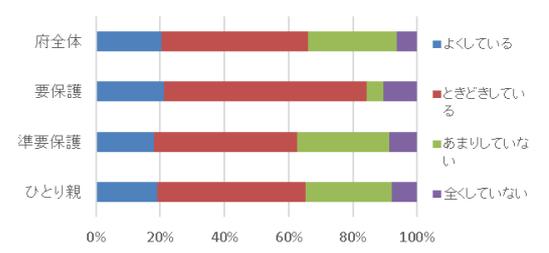
⑥将来の夢や目標を持っている



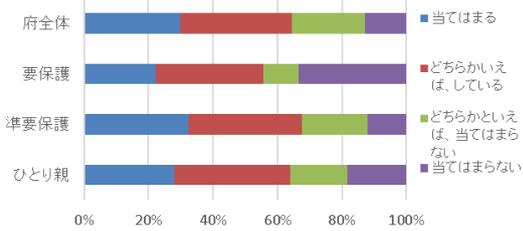
⑦難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している



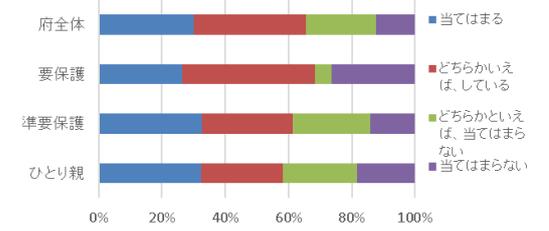
⑦難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している



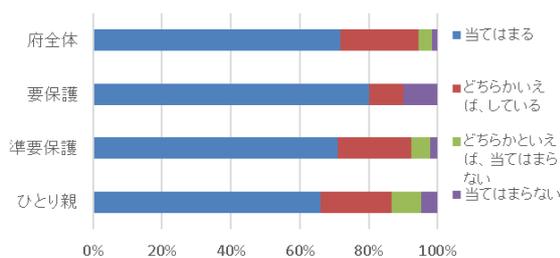
⑧困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる



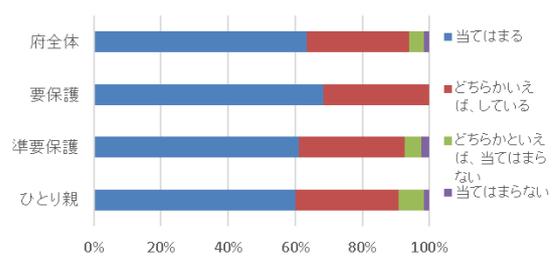
⑧困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる



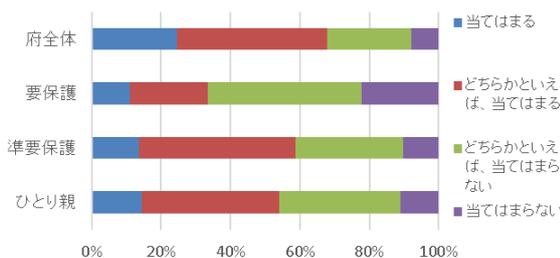
⑨友達と協力するのは楽しい



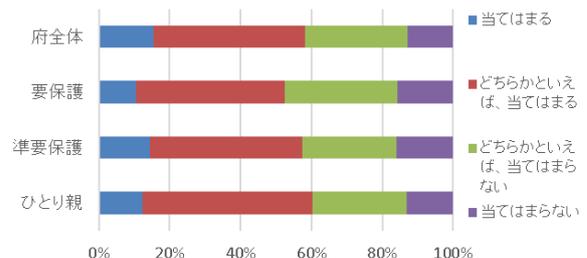
⑨友達と協力するのは楽しい



⑩家で自分で計画を立てて勉強をしている

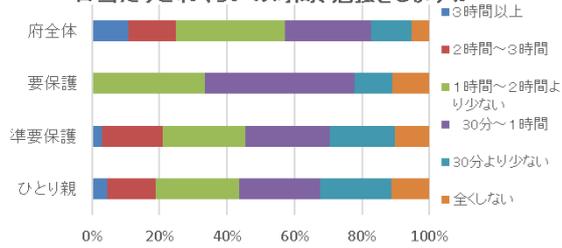


⑩家で自分で計画を立てて勉強をしている



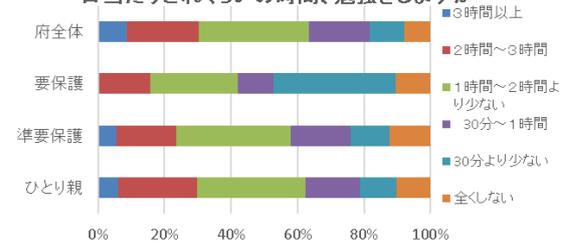
**小学校 6年**

⑪学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

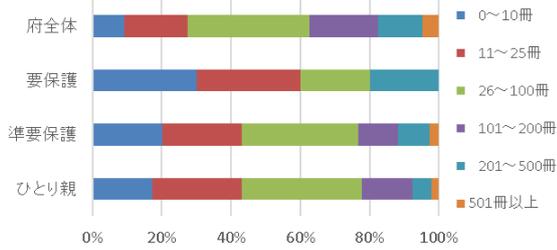


**中学校 3年**

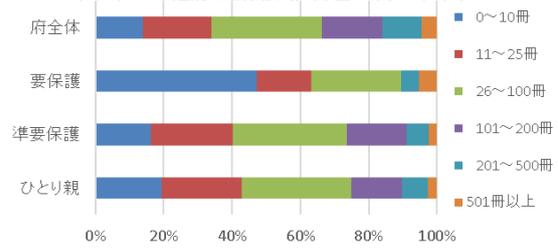
⑪学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



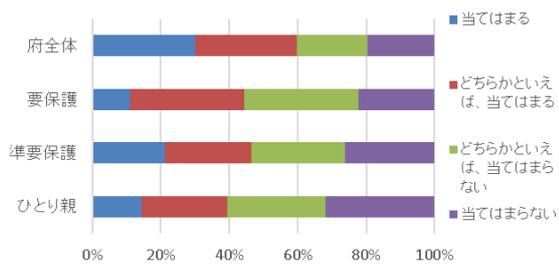
⑫あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除きます)



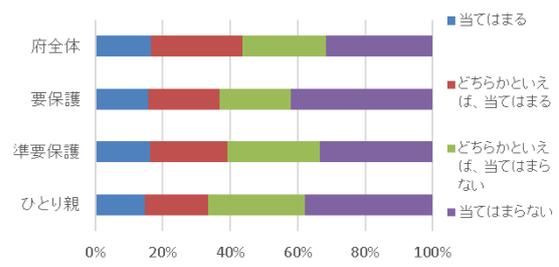
⑫あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除きます)



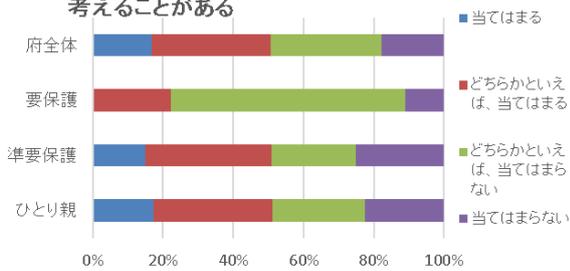
⑬今住んでいる地域の行事に参加している



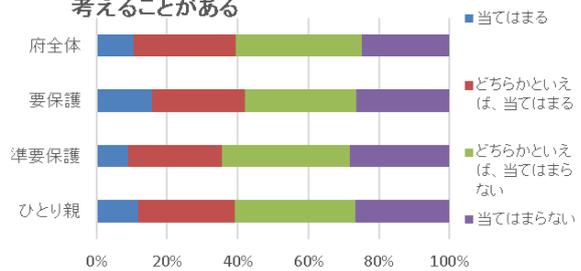
⑬今住んでいる地域の行事に参加している



⑭地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある



⑭地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある



「府全体」と、「要保護」「準要保護」「ひとり親」の肯定的な回答（グラフの青い部分と赤い部分の合計。ただし、④『普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。』⑫『あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか。』を除く。）を比較すると、「要保護」に大きな相違が見られる項目が多い。

生活規律に関する①『朝食を毎日食べている。』②『毎日、同じくらいの時刻に寝ている。』③『毎日、同じくらいの時刻に起きている。』について、「要保護」が「府全体」を下回っている傾向がある。また、中3の④『普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。』について、4時間以上と回答している割合が、「要保護」は「府全体」よりも高い。

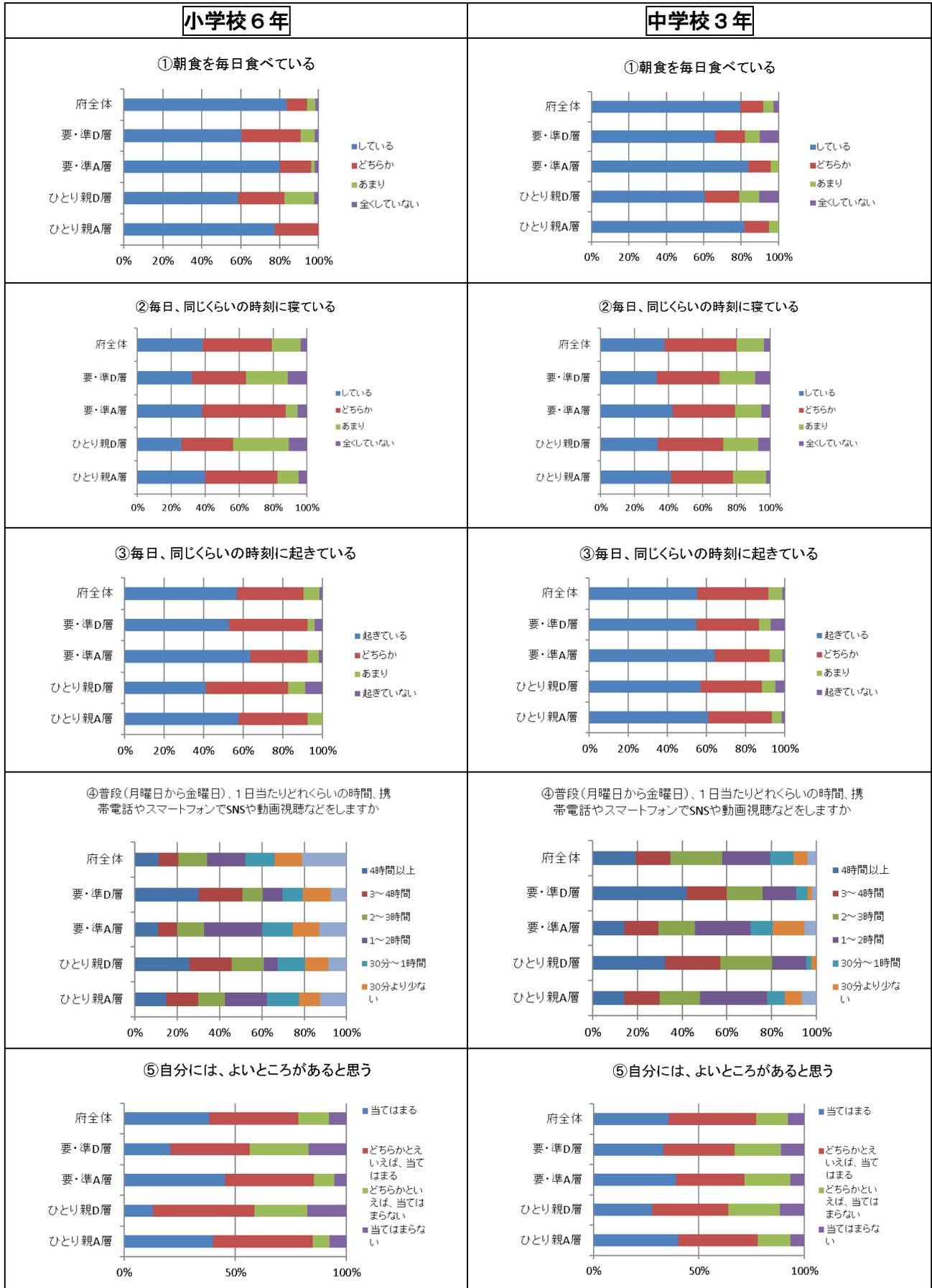
勉強量に関する⑩『家で自分で計画を立てて勉強していますか。』⑪『学校の授業以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。』について、「要保護」が「府全体」を下回っている傾向がある。

また、⑬『今住んでいる地域の行事に参加している。』、小6の⑭『地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。』について、「要保護」が「府全体」を下回っている。⑫『あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか。』について、0～10冊と回答している割合が、「要保護」は「府全体」よりも高い。

一方で、小6の⑤『自分には、よいところがあると思う。』⑥『将来の夢や目標を持っている。』、中3の⑦『難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。』⑧『困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。』⑨『友達と協力するのは楽しい。』については、「要保護」が「府全体」を上回っており、「準要保護」「ひとり親」よりも高い。

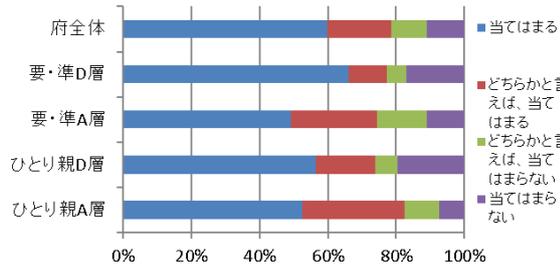
## (2) 学力A層とD層の回答状況の比較 (令和4年度 小6・中3)

※学力調査の上位25%をA層、下位25%をD層とする



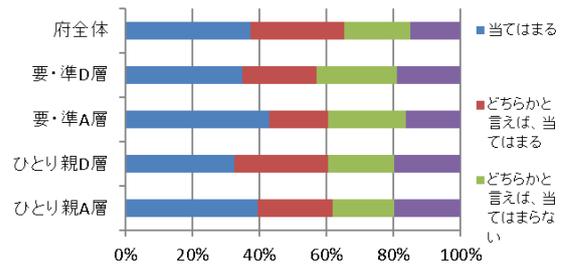
小学校6年

⑥将来の夢や目標を持っている

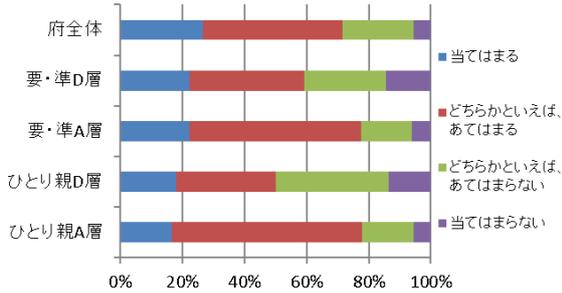


中学校3年

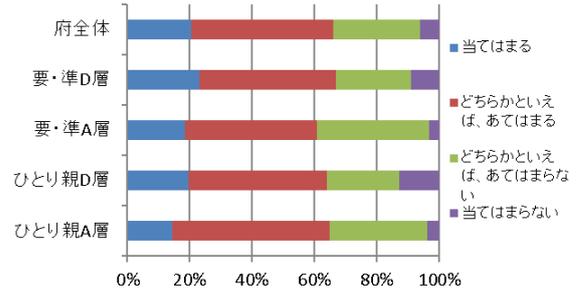
⑥将来の夢や目標を持っている



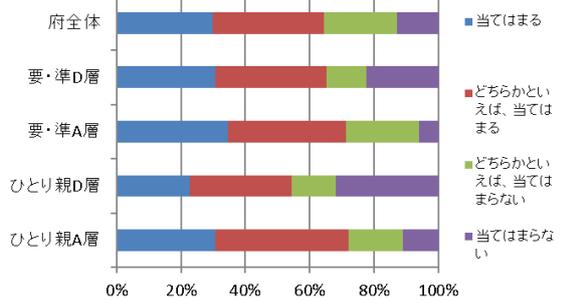
⑦難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している



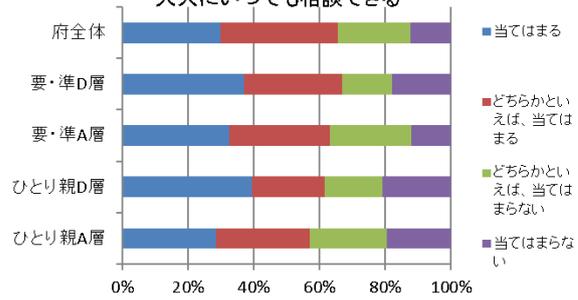
⑦難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している



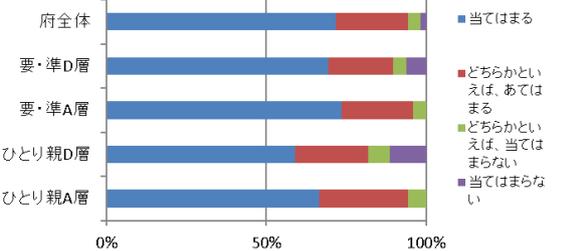
⑧困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる



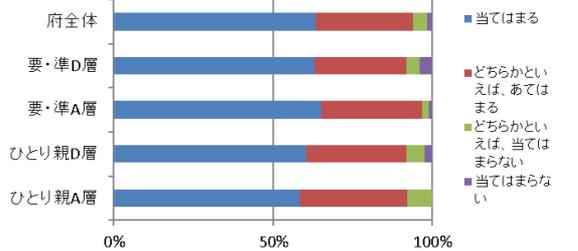
⑧困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる



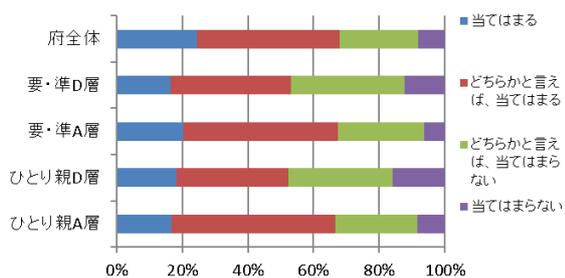
⑨友達と協力するのは楽しい



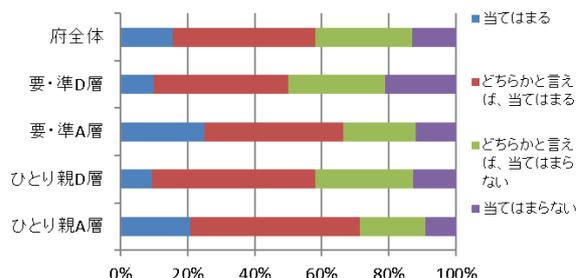
⑨友達と協力するのは楽しい

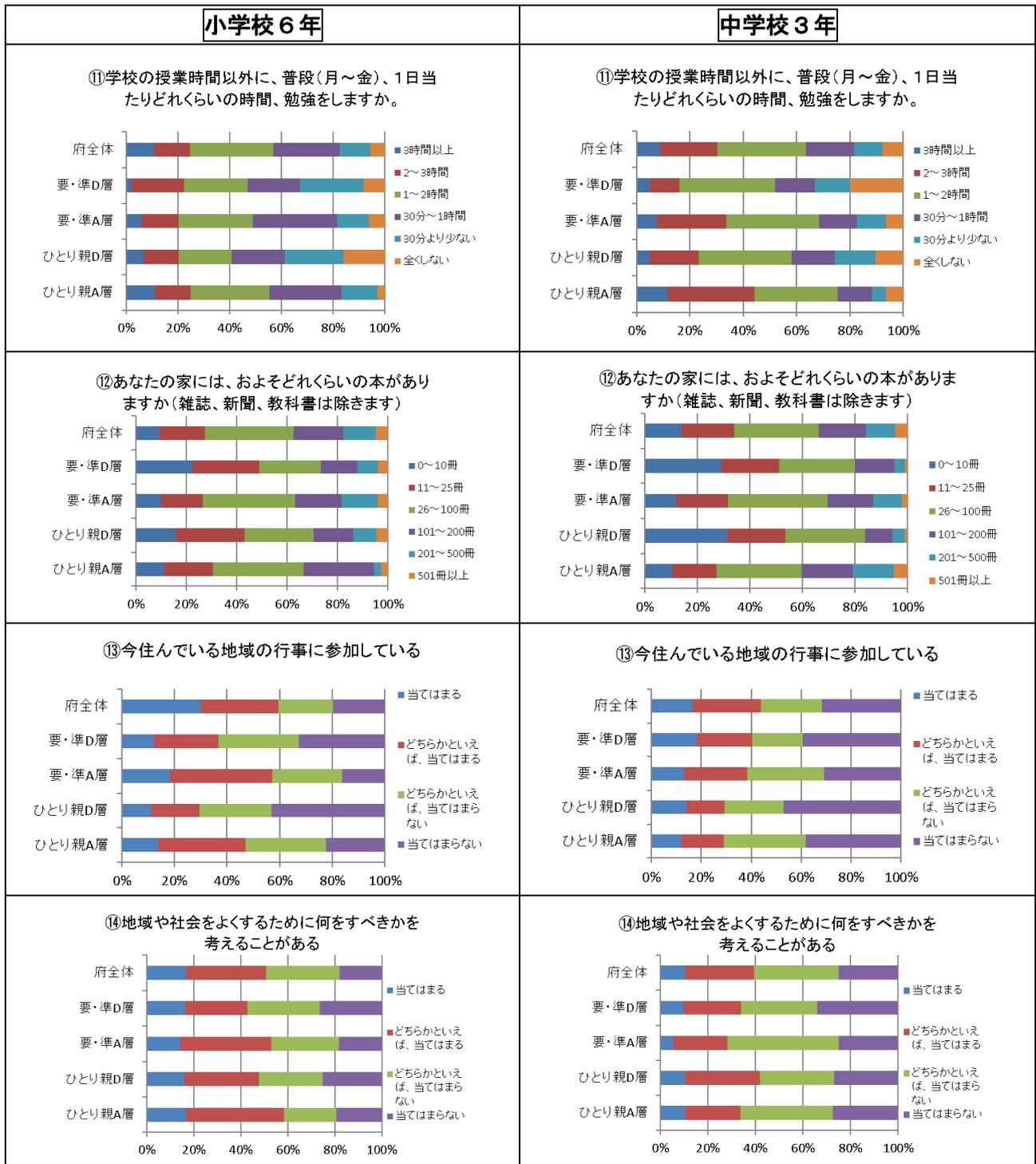


⑩家で自分で計画を立てて勉強をしている



⑩家で自分で計画を立てて勉強をしている

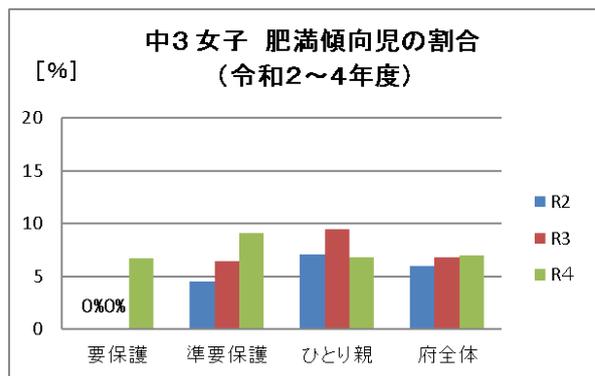
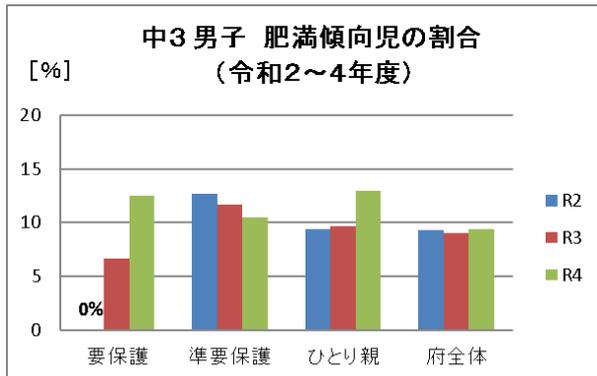
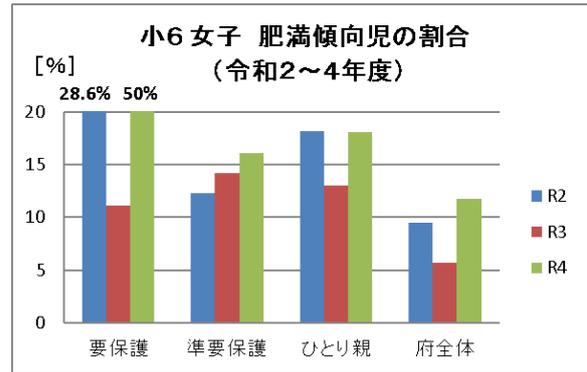
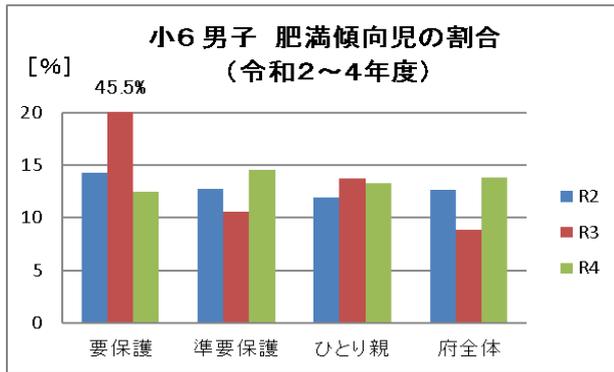




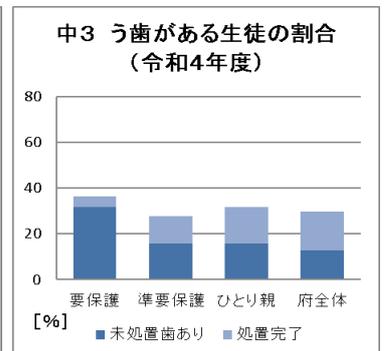
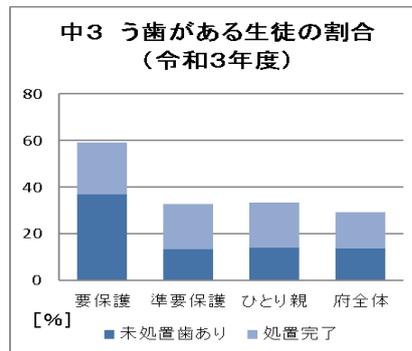
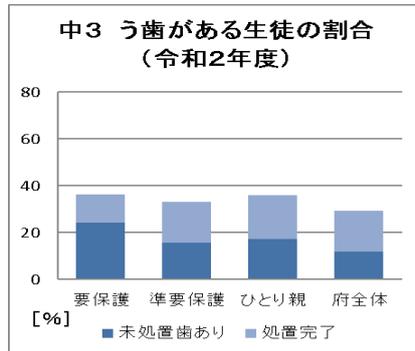
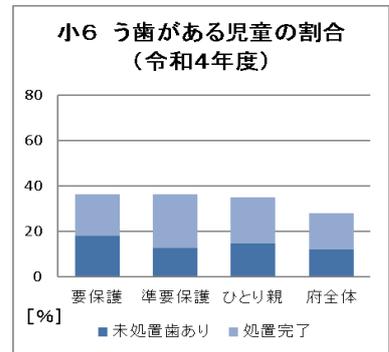
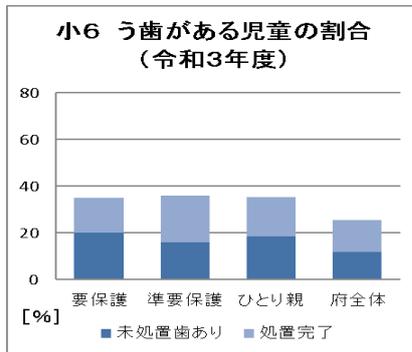
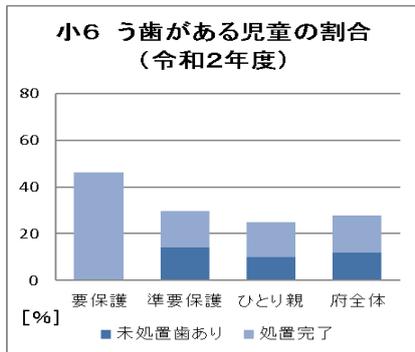
「要保護・準要保護」「ひとり親」について、学力層に着目して「府全体」と比較してみると、「要保護・準要保護」のA層は、多くの項目で「府全体」との相違は見られず、いくつかの項目では「府全体」を上回っている。

### 3 健康診断調査の状況

#### (1) 肥満傾向児の割合



#### (2) う歯(むし歯)がある児童生徒の割合(処置の状況別)

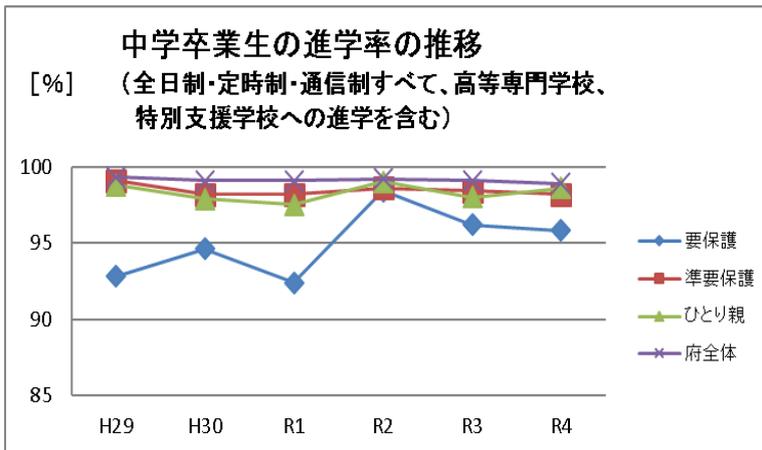


肥満傾向児の割合は年度によって違いはあるが、小6女子、中3男子の「要保護」「準要保護」「ひとり親」に「府全体」よりも高い傾向が見られる。

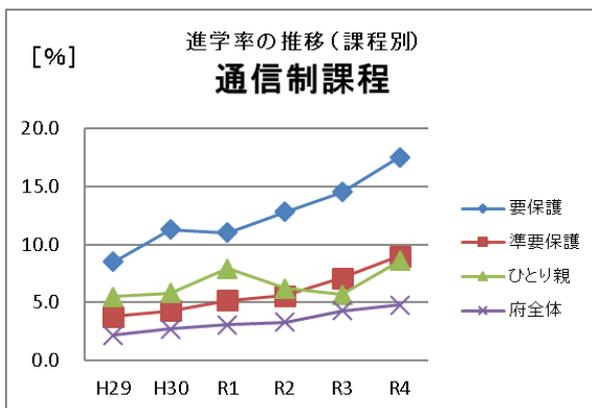
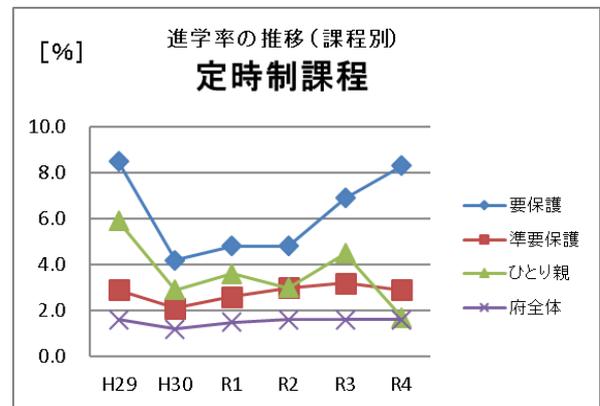
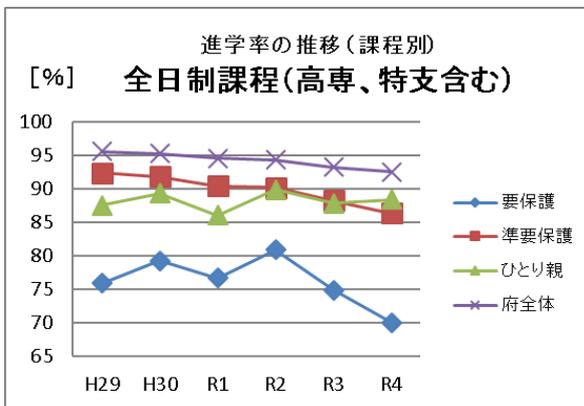
う歯(むし歯)がある児童生徒の割合では、未処置歯の割合が、特に中3の「要保護」に「府全体」よりも高い傾向が見られる。

## 4 中学校3年生の進路状況

### (1) 高等学校等への進学率の年次推移



### (2) 課程別進学率の年次推移



中学校卒業後に高等学校等の上級学校に進学する割合は、「府全体」より「要保護」「準要保護」「ひとり親」の方が低い状況にある。「準要保護世帯」「ひとり親世帯」については、「府全体」とほとんど差はないが、「要保護世帯」と「府全体」との差は大きい。

課程別では、「要保護」「準要保護」「ひとり親」は、「府全体」に比べて全日制への進学率が低く、定時制及び通信制への進学率が高い傾向にあり、「要保護」にもっともよく表れている。

### 分析結果のまとめ

1. 前回と同様、要保護の子どものサンプル数が少なくなっているため正確なことは言えないが、要保護、準要保護の子どもの算数、数学の成績が悪くなってきているのではないかと懸念される。
2. 子どもの学力にとって、学校での学びが重要なのはもちろんだが、同様に家庭環境や普段の生活規律、地域の環境の影響も重要である。
3. 中学校卒業生徒の進路先として、要保護家庭の子どもの全日制高校への割合は年々低下傾向にある一方、通信制の割合が上昇傾向にある。
4. 不登校の割合が急増している。

### 困難な状況に置かれている児童生徒への支援のために必要と思われる施策

1. 子ども自身だけでなく、家庭、コミュニティ、学校への支援が必要。限られた資源を有効に活用するため、特定のコミュニティや学校に重点的な支援を行うことを検討すべきではないか。
2. 要保護世帯の子どもの中学校卒業生徒の進路先として、全日制の代わりに通信制の選択が増えている現状について、子どもの将来にどのように影響するかの調査および評価が必要ではないか。
3. 不登校の子どもへの教育、進路相談、卒業後の支援をさらに積極的に行うべきではないか。

## 【回帰分析の結果】

学力テスト結果と関連が強い要因として目立つ変数は、Q24の「あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか」に対する回答である。前回も同じ設問の回答が同様に学力テスト結果と強く関連していたことから、子ども世帯の文化資本が子どもの学力に影響している可能性が高い。また、Q6の「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか」に対する回答も学力テスト結果と関連があるという結果を得られているが、これは子どもの家庭での生活規律を表していると考えられる。なお、この設問は今回から新たに加えられたものだが、前は、類似の設問として「学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対する回答が学力テストと関連しているという結果が得られていた。今回も同じ設問項目があったが、この設問は学力テストと関連していなかった。

表：学力テスト結果を目的変数とした回帰分析のまとめ

	小学6年生	中学3年生
かなり関係がある	●あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（Q24）	●あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（Q24） ●普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（Q6） ●朝食を毎日食べている（Q1） ●性別（女子の方が高い）
やや関係がある		
関係がある	●普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（Q6）	●要保護

（注）説明変数は、要保護、準要保護、性別、肥満傾向の割合、う歯の割合、生活状況調査の各項目、学校ダミー。

参考：前回学力テスト結果を目的変数とした回帰分析のまとめ

	小学6年生	中学3年生
かなり関係がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>●要保護</li> <li>●あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか (Q22)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●朝食を毎日食べている (Q1)</li> <li>●あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか (Q22)</li> <li>●肥満傾向の割合</li> </ul>
やや関係がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>●準要保護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●将来の夢や目標を持っている (Q7)</li> </ul>
関係がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分には、よいところがあると思う (Q6)</li> <li>●学校の授業時間以外に、普段 (月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか (Q18)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校の授業時間以外に、普段 (月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか (Q18)</li> </ul>